

## 「田之浦小学校の田之浦山宮神社神楽舞の伝承活動の取組」

### 1 学校名

志布志市立田之浦小学校

### 2 学年・人数

小学1年生から6年生（計28人）

### 3 日時・場所

#### (1) 練習の日時・場所

令和5年6月末～7月末，11月，1月～2月  
（本校体育館・田之浦ふるさと交流館舞台）

#### (2) 発表の日時・場所

令和5年7月29日（土）田之浦山宮神社夏祭り（田之浦ふるさと交流館）  
令和5年12月3日（日）ANYTHING GOES FESTIVAL 2023（志布志市文化会館）  
令和6年2月5日（月）ダゴ祭り（田之浦山宮神社）

### 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

#### (1) 名称：田之浦山宮神社神楽舞（たのうらやまみやじんじゃかぐらまい）

#### (2) 由来

神舞は，ダゴの奉納とともに古くから行われてきた春祭の行事で，昭和17年の奉納を最後に長い間途絶えていた。昭和57年に神楽保存会が組織され，翌58年2月の春祭に神舞が復活し，12段が奉納された。宮地集落の精米所で焚き火をしながら先輩方の指導により夜遅くまで練習を重ねた。宮崎県の高千穂神楽等の研修も行い復活した。校区の方々へ披露するために集落持ち回りの夜神楽を行っていたが，平成10年から，現在25段を2年に1度の夜神楽で奉納している。ダゴ祭りの時には，5段の舞を山宮神社特設ステージで奉納し，その後，ダゴ花取りが行われる。

#### (3) 構成等

現在，継承されている25段の舞は一つ一つの舞が異なり，舞人も小学生から70歳代までと幅も広い。舞によって人数も異なり，1～12人の舞までである。舞人・楽部令人を合わせれば総勢50人程になる。また，ダゴ祭りの際の「ダゴ花」は集落単位で作成され，祭り当日の朝，神社に奉納する。学校でも1本作成している。

### 5 保存会や地域との連携の具体

神舞は構成等が多種多様で，現在は保存会を中心とした取組になっている。児童生徒，保護者を含め学校や地域の協力のもと，地域ぐるみで実施されている。本校在籍であれば舞うことができるということで，保護者や祖父母も経験者として，子や孫たちに励ましの言葉を掛けている。現在，校区外から通学する特認校生も重要な担い手として活躍している。また，夕方や土曜日の練習となるが，保護者も積極的に協力し，衣装の着付け等も保存会の方々と共にやっている。2年に一度の夜神楽は，午後4時から午後10時頃になるため，夜食の準備等は地域ぐるみで行っている。

ダゴ祭りでは，開催数日前に，高齢者の方々の指導を受けて竹串（ひらひら）作りとダゴ作りを行い，ダゴ花を作成している。

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

田之浦神楽保存会の指導者と連携を取り，練習日や祭り当日の日程について，学校から保護者への連絡体制を取っている。予算面では，神楽保存会や田之浦校区青少年育成会から支援を受けている。また，地域の高齢者の方から指導を受け，ひらひら作りとダゴ作りも行っている。

## 7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



（指導者との顔合わせ会）



（神楽練習）



（田之浦夏祭り）



（ANYTHING GOES FESTIVAL 2023）

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

### 【児童】

特認校制度で田之浦小学校を選んだ理由は，田之浦の伝統である神楽を経験することができるからです。地域の方が放課後に学校に来てくださり，一生懸命指導してくださいました。手の動きや足の運び，声の出し方など覚えることがたくさんありました。田之浦夏祭りでは，大勢のお客さんの前で舞うので緊張しました。でも，仲間と協力して最高の舞ができました。見に来てくれた家族，会場の地域の方もすごく喜んでくれたので，良い思い出になりました。

### 【保護者】

田之浦地区の伝統文化である神楽を経験することができて，子供たちが大きく成長したことを感じます。最初は，できるようになるのか心配しましたが，神楽保存会の方の熱心な指導のおかげで，本番は堂々と舞うことができていました。これからも神楽を通して多くのことを学んでほしいと思います。

### 【保存会】

新型コロナウイルスの影響で3年間実施できていなかった田之浦夏祭りを今年度は開催できました。保存会としては，子供神楽があることで地域の伝統文化の継承につながっているのありがたいです。保護者の皆さんも協力的なので取組を継続させることができています。今後も学校と連携を図りながら，子供たちの成長につながる活動にしていきたいです。